

製品名: NPM1 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM85943

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	32.6kDa

抗原情報

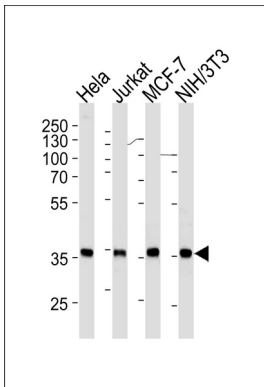
遺伝子名	NPM1
別名	Nucleophosmin, NPM, Nucleolar phosphoprotein B23, Nucleolar protein NO38, Numatrin, NPM1, NPM
遺伝子 ID	4869.0
SwissProt ID	P06748
免疫原	このモノクローナル抗体を生成するために、精製された His タグ付き NPM1 タンパク質が使用されました。

背景

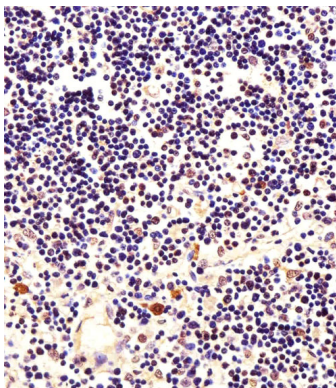
リボソーム生成、中心体複製、タンパク質シャペロン、ヒストン組み立て、細胞増殖、腫瘍抑制因子 p53/TP53 および ARF の調節など、多様な細胞プロセスに関与しています。リボソームに結合して、おそらくリボソームの核外輸送を促進します。核小体のリボ核タンパク質構造に関連し、一本鎖核酸に結合します。コアヒストン H3、H2B、および H4 のシャペロニンとして機能します。アプリン/アピリミジン (AP) 二本鎖 DNA に対する APEX1 エンドヌクラーゼ活性を刺激しますが、AP 一本鎖 RNA に対する APEX1 エンドヌクラーゼ活性は阻害します。rDNA 上の AP の修復と酸化 rRNA 分子の除去を行う核小体内の APEX1 エンドヌクラーゼ活性を制御する可能性があります。BRCA2 と連携して、中心体複製を制御します。中心小体の複製を調節します。PLK2 によるリン酸化により中心小体の複製が開始されます。

研究分野

画像データ



Hela、Jurkat、MCF-7、マウス NIH/3T3 細胞株ライセート (35 µg/レーン) における NPM1 抗体のウェスタンブロット分析。これは、NPM1 抗体が NPM1 タンパク質 (矢印) を検出したことを示しています。



NPM1 抗体 (カタログ番号 AMM85943) を用いたパラフィン包埋胸腺切片の免疫組織化学染色。AMM85943 は 1:25 に希釈した。二次抗体として、希釈していないビオチン化ヤギ多価抗体を用い、DAB 染色を行った。